

はじめに

80周年の際にBYC所蔵の古い資料の電子化を始め、ある程度取りまとめたものを80周年記念CD-ROMとして編集しました。資料には、当時の会報、写真、会議録、手紙等、種々のものが残っています。あれからあつという間に10年が過ぎました。、前回よりは資料を少し充実させて、また10年分の記録を追加して再編集にチャレンジしました。

これらの資料を再度振り返ると、BYCの素晴らしい先人達が残した足跡は正に日本ヨット界の黎明期を先導してきたといえます。特に競技としてのヨットを海外の情報も得ながら作り上げてきた、その苦勞がこれらの資料から読み取れます。また同時に、競技だけでなく、毎週末のセーリングを生活のサイクルとして楽しむ、心豊かな生活の糧としてのヨットクラブライフという独特な世界を戦前の騒乱の時代から作り上げてきたことも先人の偉業として捕えるべきであると思います。

大正の時代に立ち上がり、創設者たちの思いを持って築き上げてきた世界が、貴重な資料に残っているわけですが、これらを保管するだけでは、その意義は伝えられません。現代の我々が直接目にして過去の足跡を振り返り、その意義を新たな活動に生かし、伝え、そして今までと同じように生活の一部として楽しむこと、そのようなネタ帳になればという思いで編集を始めました。

記念誌という堅苦しい形を作るのが目的ではなく、我々の足跡を振り返る中で、そういった気付きが生まれ、何気ない日常週末の営みにも、その意義が伝承されているのを感じていただけるのではと思います、ここに再度まとめるものです。お楽しみいただければ幸甚です。

予算もなく、立派な書籍を作ることは叶いませんが、幸いかな電子書籍というスタイルで個人ベースで、お金をかけることなく、まとめあげる技術は容易に利用可能です。ただし、全くの素人編集であり、国語能力にはほとんど欠けている中で、十分な文章校正ができないままの出版となること、お許しください。

今回は余裕を持って資料のまとめあげをと思いましたが、締め切りはあつという間に迫ってきます。最後はある時点で妥協をして編集打ち止めでまとめ作業に入ることかと思いますが、どうかご了解をお願いいたします。

編集責任者 青木 英明

平成24年9月9日

